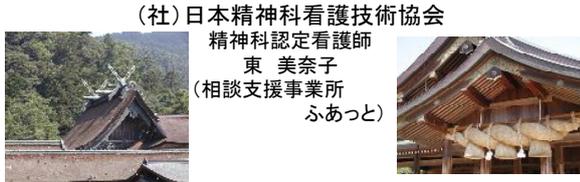


地域での暮らしを支援する力

～相談支援事業所の立場から
出雲における取り組み～



(社)日本精神科看護技術協会
精神科認定看護師
東 美奈子
(相談支援事業所
ふあっと)

第一期(2000年～)

長期入院患者(社会的入院)の地域移行支援

- 対象者: 状態は安定しているが、住居・居場所が
あれば退院可能な人
- 方法 : ケアマネジメント手法を用いて関わり始める
(ケアマネジメントはふあっとに島根県より委託)
複数のケアマネージャー制を実施
(病院相談員と地域相談員)
- 目的 : ケアマネジメント手法の理解者を増やす
医療従事者の視点と福祉従事者の視点の相互理解
ネットワークの構築
⇒ 地域(福祉・行政)と医療機関の連携
地域の社会資源の開発
⇒ 協働による現状と課題の調査

第二期(2003年～)

地域から医療へ・医療から地域へ(支援の継続性)

- 対象者: 本人の不安が強く退院に消極的な人
(退院したいという意識付けが必要な人)
- 方法 : 当事者が退院支援に介入することによる
当事者同士の関係性でのエンパワメント
地域資源の介入プログラムによる
退院支援計画の立案
- 目的 : 当事者の役割モデルによる
退院に向けての意識づけ
医療機関と地域支援者(当事者や地域資源
も含む)の協働による地域移行支援

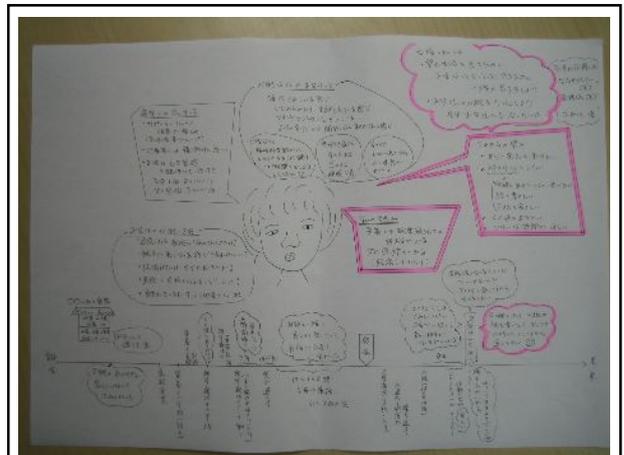
第三期(2007年～)

地域個別支援チームによる 精神障がい者の地域移行支援と在宅支援

- 対象者: 病状の不安定さがあるために危機介入等の支援が必要
なケースや、複数の問題を抱えながらも退院を望んで
いるまたは退院可能なケース
- 方法 : 退院前より医療機関と地域支援者として
個別支援チームをつくり関わる
危機介入時には、地域個別支援チームや
精神科救急支援チームが動く
- 目的 : 危機介入時の医療体制の検討等も行う
⇒ 医療評価・地域型ACT
地域自立支援協議会の役割の明確化を図る
重複障がい者の事例検討
複合障がい者家族への支援体制の強化
インフォーマル資源の開発

複数ケアマネージャー制

- 医療機関の相談員や担当看護師と
地域の相談員が担当
入院中は医療機関の相談員が主担当
地域の相談員が副担当
(退院後は主と副が逆になる)
 - 医療従事者の視点と福祉従事者の視点の相互理解
 - ケアマネジメント手法の理解者を増やす
- ↓
- 医療機関と地域(福祉・行政)の連携とネットワーク構築
協働による現状と課題の調査⇒社会資源の開発



生活サポーター

- ピアサポートをする当事者グループ
 - 出雲市内の精神科病院に定期的に出向き、入院患者を対象にピアサポート(グループ支援)地域移行支援の中で自立支援ボランティアとして有償で活動(個別支援)
 - 入院中から退院後の生活までの継続的支援モデルとしての役割
 - 入院直後の家族の不安の解消



精神科救急支援チーム

- 困難ケースの支援体制チーム
 - 問題が起こった場合等に在宅生活継続支援として チームとして活動
 - 機関の枠を超えて各専門職がチームを組み、家族や本人から相談を受けて入院・医療機関受診等の支援をする
 - チーム員は登録制
 - 事務局は保健所
 - 各所属機関の業務の一環としての派遣であり無報酬
- *登録者は18名(年により変動あり)
医師・保健師・看護師・精神保健福祉士・家族・当事者 など



こころの健康づくり取り組み隊

- 地域住民などに対する啓発活動
 - 例えば・・・地域住民向けにこころの健康について
 - 民間企業の経営者向けにうつ病予防と対策
 - ボランティア向けに精神疾患の理解と接し方 等
- 特徴:登録制(得意分野も)勤務時間中に無償で活動
- 登録者は15名
- 事務局は保健所



アニマルヒーリング

- 地域住民との協働
 - 月1回(2時間)、障がい者と犬とのふれあいの時間
 - 会場は地域活動支援センター
 - 入院中の患者も来所しセンターの見学や利用のきっかけづくりや地域の支援者との顔つなぎの意味もある
- 犬は獣医の許可が必要
- 地域住民が飼っている犬
- 事務局は保健所



地域個別支援チーム

入院中から地域の支援者が入っての
個別支援チーム

医療機関から主治医・PSW・担当看護師・退院支援担当者
地域から退院支援員



その人に必要な支援者

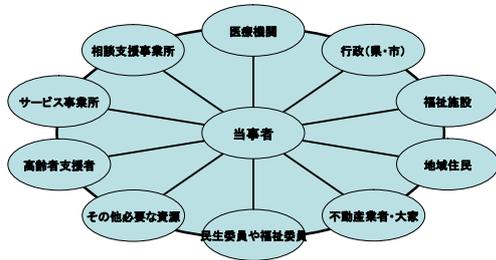


インフォーマル資源の開発

- 個別支援によって見えてきた
必要な資源を開発
- 民生委員や福祉委員、
不動産業者や大家への啓発活動

地域全体の協働による創意と工夫

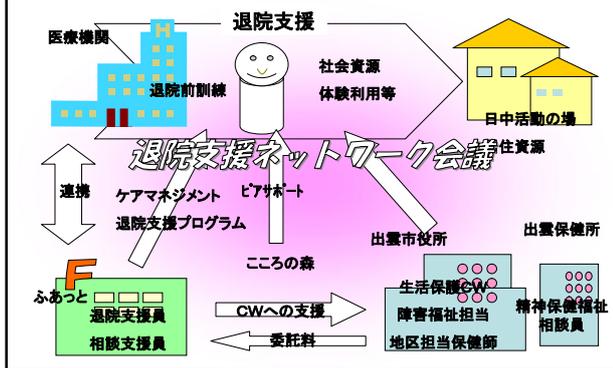
ネットワークの構築と強化



自立支援協議会の役割の明確化

- 重複障がい者の事例検討
⇒多機関・多職種による調整機能
- 複合障がい者家族への支援体制の強化
⇒相談支援事業所間の連携
- 必要な資源や支援体制をシステムにする
例: 居住サポート事業の有効活用
- インフォーマル資源の開発とフォーマル化

出雲市精神障害者退院支援事業



まとめ

地域移行支援はネットワークありき！？

地域移行支援をきっかけにネットワークを創ることも可能！！
地域の課題が見えてきた人がその課題について発言できる場が必要

地域性や地域力を活かす
個別の支援チームをつくる